

小中一貫教育 実施に向けて

確かに中学校に入って勉強が難しくなるということもあるでしょうが、子どもにとつての「中学デビュー」を楽しみ期待を持って迎えられようように、小学校と中学校の先生、保護者など、あらゆる角度から子どもたちをサポートしてくれる大人が数多くいてくださればありがたいと思います。

ご苦労されている先生方の実践発表は、他の中学校区のアイデアを参考にしたり、同じ課題を一緒に考える機会になると思います。また発表の際に、学校と保護者や地域の関わり的事例も加えてもらえればと思っています。

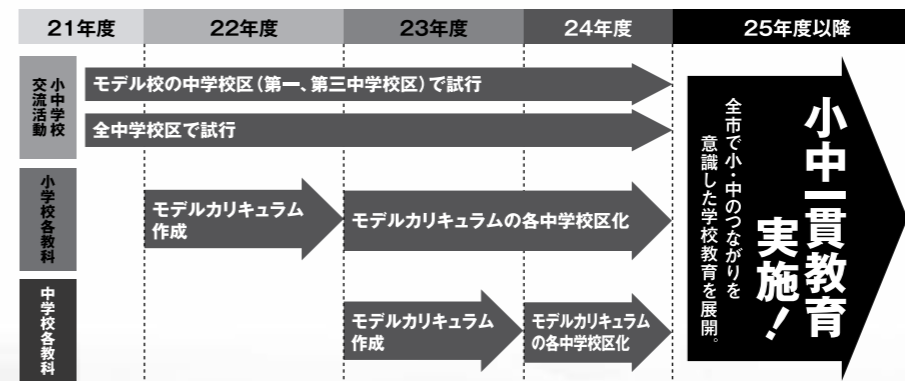


小中一貫教育 実施に向けて

小中一貫教育推進室 ☎(45)1116

三条市教育委員会では、小中学校9年間を連続した期間としてとらえた教育課程の編成や、小中学校の児童生徒、教職員の交流など、全中学校区で小中一貫教育の取り組み(試行)を積み重ねてきました。今年度は、これまでの取り組みの成果や課題を整理し、取り組みの改善を図りながら、平成25年度全市小中一貫教育実施に向けて準備を進めています。

平成25年度 小中一貫教育実施に向けた歩み



「モデルカリキュラムの各中学校区化」とは?

三条市の小中一貫教育モデルカリキュラム(小中学校9年間を見通した一貫性のある指導計画の指針を示したものを。)をもとに、各中学校区において、地域の特色を生かした小中一貫教育カリキュラム(小中一貫教育指導計画)とすることです。

※教育活動に係る主な取り組みを図示したものです。

実践発表会を見に行ってください。 中学校への進学も安心して迎えられるます。



栄北小学校学校
評議員 六原 佳子さん

世の中が情報化し、子どもの中学校入学前から、学習産業の業者から「中学校になると勉強が難しくなったり、色々大変ですよ」と聞かされると、子どもだけでなく、保護者も中一ギャップを患うのかなと感じます。

栄中学校区の小中一貫教育の取り組みで、中学校の先生による小学生の理科実験の授業を見せてもらいました。子どもたちも楽しそうでしたし、先生も小学生の驚きの声などの反応のよさに応じて、生き生きと授業をしているように見えました。こういったオープンな取り組みを多くの保護者が見ることができれば、子どもの中学校への進学も安心して迎えられるのではないのでしょうか。

核家族化により伝えにくくなった 「タテのつながり」が生まれてほしい。



鶴田4丁目自治会長
土田 豊さん

中学校の部活のように先輩後輩の関係は今も少し残っていますが、我々の世代から見ると「子ども同士」のタテの関係が希薄になっていると思います。小中一貫教育には、子どもたちのタテのつながりを、かつてのように復活させるという効果もあるように感じています。小学生の成長過程で中学生のお兄さん、お姉さんの姿が見えることも必要なのではないでしょうか。

また、家庭内でのテレビゲームなどの自粛期間の設定やあいさつ運動など、小・中学校が足並みをそろえて、家庭や地域に協力を求めていくということが、これまではできていなかったと思います。学校から地域への声かけは大切なことだと感じます。

保護者、地域を巻き込んだ 小中一貫教育に期待します。



三条市PTA連合会
前会長 田中 範之さん

小中一貫教育はいわゆる中一ギャップの解消のためには、良いと思います。

これまでの地元中学校区の取り組みを見ても、小学校と中学校に連携がうまくとれてきていると感じられます。小学生と中学生の交流や教員同士の交流が持たれることによって、中学生にとっては、自分たちが小学生のあこがれの対象になることの自覚や小学生にとっては、中学生になれば、こうなるんだという色々な期待や楽しみも増えていくと思います。

中学校の先生による小学校での授業も、子どもたちが中学校の雰囲気慣れる下地になるのではないのでしょうか。

また、これからは地域コミュニティの活動と連携して、保護者や地域が小中一貫教育に参加していける可能性もあると思います。地域行事を絡めた小・中交流や中学校区内の小学校同士の交流、あるいは中学校の体育祭へ小学生が参加する際に小学生保護者の観覧を促すなど、保護者、地域を巻き込むやり方というのは、まだまだ色々とできると思います。保護者や地域への情報発信に期待します。



小中一貫教育 実施に向けて



新しい校舎の 見学会を実施します!

教育総務課 ☎(45)1117

第二中学校区小中一体校のノ木戸小学校および裏館小学校の新校舎(裏館小学校は校舎棟のみ)が完成し、9月から使用を開始します。これに先立ち、市民の皆さんを対象に施設見学会を行います。申し込みは不要です。直接学校にお越しください。

とき 8月11日(土) 午後1時30分~4時
8月12日(日) 午前9時30分~午後4時

三條市役所および三條地域振興局駐車場
*現地に駐車場はありません。
*路上駐車や付近事業所などへの無断駐車はお止めください。

持ち物 内履き

教室はオープンスペースと一体化して使用できる開放的な造りとなっています。新たに図書室とパソコン教室を一体的に使用できるメディアセンターを設けるとともに、太陽光や風力などの自然エネルギーによる発電量がモニターできる設備なども備えています。また、屋上にプールを設置することで校地の有効利用を図っています。

ノ木戸小学校



裏館小学校



大島中学校区 大島中学校 横山 末男 教頭

小規模小中学校の特性を生かして、特色ある活動を展開していきます

大島中学校区では、小規模小中学校の特性を生かして、「ゴミ拾いウォーク」など全児童生徒が参加する特色ある活動を展開したり、全教職員参加の研修会を通して共通した指導を行ったりしています。実践発表会では、全教職員の協働や小中の交流活動、地域との連携を中心に発表します。

第四中学校区 第四中学校 五十嵐一浩 教頭

地域の方々と一体となってあいさつと笑顔のあふれる地域作りを目指しています。

第四中学校区では、子どもたちの知・徳・体を、他者との関わりや絆を深めながら9カ年で育てることを目指しています。その中核をなすのが「あいさつ運動」です。子どもや教職員はもとより、保護者や地域の方々と一体となってあいさつと笑顔のあふれる地域づくりを目指しています。これらの取り組みをわかりやすく発表します。

第一中学校区 第一中学校 小林 敏彦 教諭

全職員が連携・協力して児童生徒を育てる小中一貫教育を目指します!

第一中学校区では、全職員が連携・協力して児童生徒を育てる小中一貫教育を目指し、さまざまな交流活動や授業づくりに取り組んできました。実践発表会では、小中の全教員がペアを組んで行った9年間を見通した学びをつなぐ指導計画づくり・授業づくりの取り組みを中心に発表したいと思います。

栄中学校区 栄中学校 小林 哲朗 教頭

子どもたちの自信を高める取り組みを小中の教職員が力を合わせて進めています

「自分に自信をもち たくましく生きる さかえの子」を育てることが目標です。例えば、小中学校の教師がおのおののよさを生かし、協力して分かる授業づくりを進めています。また、「深めよう 絆 スクール集会」や「フラワーロード活動」など地域ぐるみで豊かな心を育む活動に取り組んでいます。当日は、取り組みの成果と課題を紹介しします。

本成寺中学校区 本成寺中学校 小岸 正樹 教諭

小中教職員が「チームワークと熱意」で協同し、授業研修などに取り組んでいます。

「深めよう『絆』スクール集会」などで深めた小中の絆は大輪を咲かせ、絆の標語はのぼり旗となり各校を飾っています。小中教職員が、「チームワークと熱意」で協同し、授業研修などに取り組んでいます。この小中一貫教育の実践を紹介することで、保護者の皆様、地域の方々と、子どもたちの成長を共に実感していきたいと思ひます。

第二中学校区 第二中学校 田邊 進 教頭

実践から見てきた子どもの具体的な姿から成果と課題を発表します

第二中学校区では「小中一貫教育を授業の中で実現する」ことを目指しています。「授業改善チェックリスト」の活用、「思考の方法」を育てる言語活動のあり方、振り返り活動による言語活動の充実、小中合同家庭学習強調週間などの実践から見てきた子どもの具体的な姿から成果と課題を中心に発表します。

下田中学校区 下田中学校 和田真理子 教諭

地域の協力を得て教育活動や下田っ子の約束5か条に取り組んでいます

6つの小学校がある当中学校区では、小中連携に加え、小小連携にも力を注いでいます。また、当地区は地域の協力を得て教育活動を進めてきました。現在は、地域とともに行うあいさつ運動や下田っ子の約束5か条に取り組んでいます。実践発表会では、小・中学校の交流活動や心を耕す取り組みについて紹介したいと思います。

大崎中学校区 大崎中学校 桐生 太 教諭

小中一貫教育キャッチフレーズは「大崎夢づくり、絆づくり教育」です。

大崎中学校区の小中一貫教育キャッチフレーズは「大崎夢づくり、絆づくり教育」です。児童生徒の社会性を育成し、学力向上を図ることを目標としています。自己有用感や人間関係づくりの能力を育成するため、家庭や地域との連携に力を入れて取り組んでいます。実践発表会では、あいさつ運動やボランティア活動、小中交流ウィークについて発表したいと思います。

第三中学校区 第三中学校 田村 和弘 主幹教諭

課題を共有化し、小中連携と小小連携に取り組むことが重要です。

当学区各校はモデル校として、研究実践に取り組んで参りました。一番の成果は小中教職員が「学区の子どもたちを共に育てていこう」という意識が高まったことです。学区教職員の意識を高めて、学区の教育課題を解決するためには「課題を共有化すること」と「小中連携と小小連携に取り組むこと」が重要であることを当日伝えていきます。

**小中一貫教育
実践発表会を開催!**
どなたでも入場いただけます。ぜひお越しください。

とき 8月21日(火)
午後0時50分~午後4時45分
(受け付け:正午~)

ところ 燕三条地場産業振興センター
メッセピア 多目的大ホール

内容…市内9中学校区小中一貫教育実践発表、パネルディスカッション など

この夏、市内各中学校区でのこれまでの小中一貫教育の取り組みに関する実践発表会を開催します。この発表会を通じて、全中学校区で成果と課題を共有し、各々の中学校区での具体的な指導方法の策定や取り組みの改善に役立てていきます。

全中学校区が小中一貫教育の実践を発表!